

総務局

一般会計要求総額 5,213百万円
(対前年度 +10.6%)

【平成29年度 予算要求の経営方針】

総務局は、多様化する行政ニーズに対応し、市民に信頼される市役所づくりを推進するため、情報化の推進や、行財政改革、人材育成など全庁的な総合調整機能を果たしていく。

また、平成27年10月に策定した「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、女性の就業・創業支援などを通して、少子高齢化・人口減少対策などの課題の解決に積極的に取り組む。

さらに、市民が戦争の悲惨さや平和の大切さ、命の尊さを考えるきっかけとするため、平和への取り組みを進める

【平成29年度 予算要求の基本的な考え方】

①：新規事業、②：拡充事業

① 女性の活躍の推進・男女共同参画への取り組み 要求額 497百万円 (対前年度 +5.0%)

「北九州市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、女性の就業・創業支援等を通して、少子高齢化・人口減少対策、本市の経済社会の活性化に積極的に取り組む。

- ① GSWアフターミーティング開催事業
- ② 女性輝き！推進事業
- ② ウーマンワークカフェ北九州運営事業
- ② ワーク・ライフ・バランス推進事業

① 平和への取り組み 要求額 15百万円 (対前年度 +50.0%)

本市の平和に対する基本的姿勢を示す「北九州市非核平和都市宣言」に込められた平和への願いや、悲惨な戦争の記憶を風化させることなく戦争を知らない世代に伝えていくために、嘉代子桜・親子桜の植樹や長崎市平和派遣事業等を実施する。

- ② 非核・平和推進事業

① 情報システムの整備・運用と利便性の向上 要求額2,811百万円 (対前年度 +9.9%)

本市業務システムの安定運用を図るため、その土台となるICTインフラを更新するとともに、マイナンバー制度の情報連携開始に向け、福岡県と協力して高度なセキュリティ対策を行う。

また、市役所全体での情報の共有化により業務の効率化・高度化を通じて、費用の削減を図るとともに、施設予約システムやGIS（地理情報システム）を活用し、広域にわたる課題解決や市民サービスの向上を図る。

- ① 自治体情報セキュリティ事業
- ② ICTインフラ整備運用事業
- ② 全庁GIS（統合型GIS）運用事業
- ② 社会保障・税番号制度対応事業

① 施設等の整備・老朽化対策 要求額1,266百万円 (対前年度 +36.6%)

「北九州市行財政改革大綱」や「北九州市公共施設マネジメント実行計画」を踏まえ、総務局の所管する公共施設において、施設設備・機器等について、定期的・計画的な点検や改修、整備・更新などの作業を実施し、施設の維持・保全を図る。

- ① 本庁舎中央監視システムリモートユニット更新事業
- ① 本庁舎受変電設備更新事業
- ① 小倉北区役所庁舎ガス消火設備更新事業
- ② 文書館改修事業
- ② 男女共同参画センター施設整備事業

※ 公開時点での予算要求の内容であり、平成29年度に実施することが確定しているものではありません。